

みなさん、ご存じですか？

毎年、9月20日から26日は「動物愛護週間」です

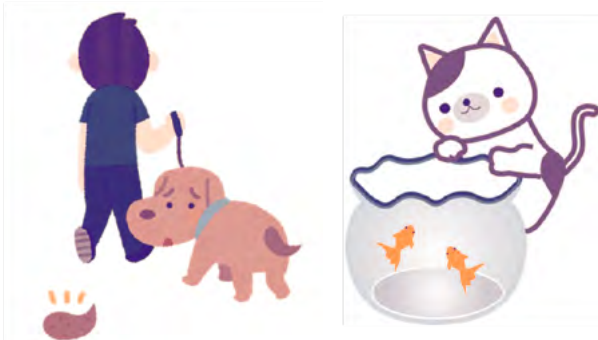
この機会に、犬猫の正しい飼い方について考えてみませんか？

犬猫飼育の6ヶ条

ちゃんと守れていますか？
チェックしてみましょう！



- 1 法令をしっかりと守る！
- 2 犬猫の習性等を考えて適正飼養！
- 3 他人に迷惑をかけない！



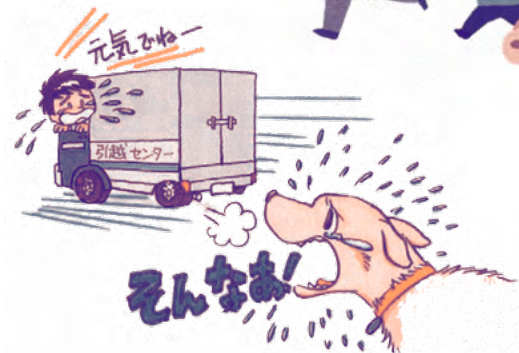
4 人と動物の共通感染症に注意！



5 災害時の備えをする！



6 最期まで愛情・責任を持って飼う！



たまり水、放置していませんか？ 今年も「蚊の発生防止」に取り組みましょう！



蚊の発生防止対策シンボルマーク

東京都では毎年、蚊が本格的に発生しはじめる6月から、「蚊の発生防止」に取り組んでいます。デング熱やジカウイルス感染症などの蚊が媒介する感染症の発生を未然に防ぐためには、日頃から蚊の発生を抑えるとともに、蚊に刺されないようにすることが大切です。

蚊の幼虫（ボウフラ）は、**たまり水**で成長するため、成虫より幼虫（ボウフラ）を退治することが蚊対策としてより効果的です。ご家庭・ご近所で協力してたまり水を無くし、今年も蚊の発生防止に取り組みましょう。

【蚊対策のポイント】

【幼虫対策】 ◎不要なたまり水をなくしましょう。

例：植木鉢の受皿、空き缶、古タイヤなど



【成虫対策】

- ◎やぶや草むらは定期的に手入れし、風通しを良くしましょう。
- ◎蚊に刺されないように長袖の着用や必要に応じて忌避剤（虫避け剤）を活用しましょう。



東京都 蚊対策で 検索 !!

紫外線対策してますか？ 1年で最も紫外線量が増える季節です！

紫外線は、太陽の光に含まれている波長の短い、目に見えないエネルギーです。紫外線（特にUV-B）は、ヒトへの健康影響として、急性影響と慢性影響が知られています。

- 急性影響：皮膚（サンバーン（いわゆる日焼け））、眼（紫外線角膜炎（いわゆる雪目））など。
- 慢性影響：皮膚（シワやシミ、皮膚がん）、眼（白内障や翼状片）など。

紫外線は、年間の約70～80%が4～9月に降りそそぎ、7月は1年で最も紫外線量が強く多い月です。以下を参考に適切に紫外線対策を行い、上手に夏を楽しみましょう！

◎紫外線が強い時間帯（10～14時）の外出を避けましょう。

1日の紫外線量の約60%がお昼前後に。また日陰は日向の約半分。屋内は約10%以下です。

◎日傘、帽子、衣服（袖付、襟付）を活用しましょう。

海やプールでは、ラッシュガードなども上手に使用しましょう。熱中症にも注意しましょう。

◎紫外線カット眼鏡やサングラスを使用しましょう。

眼への影響を約90%カットできます。

◎日焼け止めを上手に活用しましょう。使用量や使用方法、対象年齢などを確認しましょう。

